

令和六年度入学式 式辞

本格的な春の訪れとともに、金剛山、葛城山の木々が芽吹き、春らしさが一段と増した春爛漫の佳き日に、奈良県立御所実業高等学校入学式が挙行できますことは、本校関係者一同大きな喜びです。

また、この栄えある入学式に、公私ご多用のところ、PTA会長様にご臨席を賜り、高いところからではございますが、厚くお礼申し上げますとともに、今日まで新入生の皆さんを温かく見守り、励ましてこられました保護者の皆様にも、心からお祝いを申し上げます。お子様が、これから更に成長していけるよう、精一杯努めさせていただきます。

さて、ただいま入学を許可いたしました182名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員をはじめ学校関係者一同、心から歓迎いたします。本校での学校生活に様々な期待をもち、胸をふくらませていることと思います。皆さんの生涯の中でも、極めて大切な時間になるものと思います。

本校は、「ものづくりは、人づくり、夢づくり」を学校目標として掲げており、その基本は、「ものづくり」です。まずは、自分でやってみることが基本です。しかし、決して一人ではできません。「ものづくり」を通して他者とのコミュニケーションを図り、多くの仲間をつくっていく、それが大きな魅力の一つです。「実学」である「ものづくり」を通して、私たちは、生徒を育てていきます。そして、そのことを通じて社会人としての素養を身に付けていただきたいと思います。

入学にあたり、私から新入生の皆さんにお願いが二つあります。

まず、守っていただきたいことです。

これから皆さんは、「家庭」や「社会」、に加えて、この「御所実業高校」で学校生活を送ることになります。それぞれの場所では、必ず「マナー」や「ルール」が存在します。高校在学中には成人年齢の18歳に達し、中学生までにはなかった様々な「責

任」も生じ、自分自身の行動や取組が結果として伴ってきます。「マナー」や「ルール」を守ることは、社会で生きるうえで最も大切なことです。自分自身の考えだけで行動するのではなく、しっかりと周囲に気を配るとともに、他者の話に耳を傾けて行動してください。

次に取り組んでいただきたいことです。

「目標」を持って生活してください。そして、その「目標」を達成するために、今、何が必要か、何をやるべきか考えて取り組んでください。まだ具体的な「目標」がなければ、「今、この瞬間を大切」にしてください。必ず素晴らしい「目標」に出会えると思います。もし迷ったり、進めなくなり立ち止まりそうになったら私たちを頼ってください。私たちは、精一杯、力になります。

最後に保護者の皆様にもお願いがあります。成長していくお子様をどうか見守ってあげてください。時には悩んで相談にくることがあるかもしれませんが、まずは話をよく聞いて受け止めてください。そして、学校に相談してください。本校の教職員は、時には寄り添い、時には厳しく、今、取り組むべきことを用意してお子様の成長を支えます。

私は、生徒の成長や進路希望の実現には、ご家庭と学校がお互いの役割を理解しあうことが何よりも大切であると考えています。どうか、保護者の皆様方におかれましても、本校を信頼していただき、力強いご支援、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さんのこれからのご活躍と保護者の皆様の益々のご健勝、ご発展をご祈念申し上げ、式辞といたします。

令和6年4月9日

奈良県立御所実業高等学校

校長 石井 正幸